



平成 29 年 5 月 8 日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者 代表取締役社長 大西 安樹
(コード番号 2209 東証第二部)
問合せ先 代表取締役副社長部門統括 中島 伸子
(TEL 059-234-2146)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,500	百万円 950	百万円 1,030	百万円 530	円 銭 43.76
今回修正予想 (B)	41,997	1,232	1,306	716	59.64
増減額 (B-A)	497	282	276	186	
増減率 (%)	1.2	29.7	26.8	35.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	38,644	742	738	445	36.77

修正の理由

連結業績につきましては、売上面では流通事業セグメントにおいて冷菓カテゴリーを中心に全カテゴリーで売上が増加しました。海外では、米国の IMURAYA USA,INC. のアイス事業において販路拡大が図られました。また、中国事業も売上増加とコスト削減が図られ着実に伸長しました。さらに、井村屋シーズニング株式会社や日本フード株式会社での BtoB 事業の売上也順調に推移し、売上高は過去最高を更新し、前回予想を上回る見込みとなりました。利益面においても、バイオマスボイラの稼働率向上に伴う動燃費の削減や冷凍倉庫「アイアイタワー」の設備投資効果による保管料減少、また、グループ全体で取り組んでいる生産性向上活動によって原価低減が図られ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全てにおいて、過去最高を更新し、前回予想を上回る見込みとなりました。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上